

校友時報

秋田縣立農高農業技術研究所
新規入・大學生申請用紙

有権者の皆様
教育委員の選挙は
投票せずに
投票しませう

更に二仮想案提出（高校）

本校は県立能農高と合併か

県高校再編総審議会の九月角館北と角館南、美入野と案を実施するとは結て定例会は二十二日午前県教育局湯沢南と湯沢北を統合の経費は十六億五千五百万委事務局で開かれたが事務局合併の結果である。

当局からさきの二十校以上を必要とするという

合する仮想案についてそれがよりやく緩和した二十三校

案と二十六校案が参考とし

て提出された。

二十三校案では小坂と鹿角校再編成問題が生徒間で

たかと育うとそれは終戦後

角工業、金足農業と五城目も大きな話題となつてゐる日本教育制度は一大転換期である。このように新

本莊と山梨、西日と矢島、今日、本紙でもこの問題を

をした。そして今迄無かつ教育が行なわれているのにないにもならない、この実質はあまりまで行なわれようとも、実質に変化しなければ取りあげ六三三制の確立とが行なわれる。し

て大曲農業、角館南と取り上げ能代市在住の縣教委六三三四制が生れ教育局各学校がいまだに戦時中の変化ねらつたのが今回

角館北、横手工業と増田、育委員西村節朗氏に面会を度は根本からひっくり返つ

美入野と城南湯沢南と湯沢申込んだところ心よく承

た。

大曲と大曲農業は廃止するも集め、工藤収材部長の兩名

が起つたが実際にには

と、鹿角工業、能代南と能代農をうかがつた。

利と本莊、大曲農業と大曲

高校再編成はなぜおこつ

ると言ふが、その差が現在では蒸裕もついて来た

と、今迄の小学校はそのままはだしい。

と、今迄の小学校として存続され、をひかえた新制高校がまだ使はれて来たのである。は新教育制度と実際而して最近まほ我が國の社會狀

は、新制中学生なるものが新しく

制度上においては大抵

差が生じてくる。特に所感や迷惑感はそれを行なう事である事と男女生学を実

験生した。では旧制の中ないのは大變不都合なこと

が叫ばれて来た時でもあ

り、行し設備を統合が実現等

するが、この高校再編成は既に

と新制高校として新發足し

